



THE TAKAO MAGAZINE

「この国はもっとワクワクできる」…1
政策を極める…3
次世代と対話する…5
未来を構想する…6
地域を愛する…7

Special Edition December 14, 2011

政治一〇年目からの挑戦。
問題解決型から
理想実現型の政治へ。



文＝越智 隆雄

この国はもつと、 フクフクできる。 新興衰退国から「すごい国・日本」へ

人気の家具屋さんの ビジネスモデル

郵便受けにスウェーデンの家具屋さんのカタログが入っていた。キャッチコピーは、「わが家はもっと、わくわくできる。」その家具屋さんは、郊外に超大型店、センスもクオリティーも高級、価格は激安、なぜなら、組立ては自分。独特のビジネスモデルである。従来の家具屋さんの何分の一かの値段が魅力で、ファミリー層を中心に人気だ。

カタログを見ていると、いつかは住みたいセンスの良い部屋が、すぐにでも実現できると思えるし、一度お店に足を運ぶと、多くの方がリピーターになってしまう。完成した姿と、実現する方法をイメージできると、理想を手に入れるために人は動く。都内からも神奈川や千葉のお店に大勢が詰めかけ、巨大な駐車場を埋め尽くす。

政治も思い切ってやり方を変えてみてはどうだろうか。いままでの「問題解決型」から「理想実現型」へ。未来のこの国のイメージをもって、それを実現する方法をみんなで分かち合って、取組もうではないか。

「新興衰退国」から 「すごい国・日本」へ

これまでの150年間に、日本は二度の「奇跡的な」発展を遂げた。明治維新に始まる「独立国家」の形成と、第二次世界大戦終戦に始まる「経済大国」の形成である。戦前は「富国強兵」、戦後は「追い付け追い越せ」をキャッチフレーズに、国民一丸となってなし得た偉業である。

戦前は、1905年日露戦争勝利、1919年第一次世界大戦パリ講和会議五大国入り、1922年ワシントン海軍軍縮条約五ヶ国入り。半世紀でのぼりつめた。

戦後は、1968年西側第二の経済大国、1975年先進国首脳会議六カ国入り。30年でのぼりつめた。日本はすごいと思う。欧米の強さや豊かさに憧れを感じ、国民みんなで努力に努力を重ねて勝ち得た結果である。

では、いまの日本は「すごいか?」。決して「すごい」とはいえない。逆に、いま日本は「格好悪い」。混迷の極にある。最近、「新興衰退国」と揶揄されているとも聞く。

東日本大震災に直面したとき、日本人の秩序や礼節を世界が称賛したが、日本の国が評価されたわけではない。それに、欧州危機は対岸の火事ではない。日本の国の借金は対GDP比は世界最悪である。借金の原資として頼りにしていた個人金融資産は、そろそろ底をつく。

一人一人は頑張っているつもりなのに、国全体で見ると想像を超えとんでもない状況になっている。国の国際競争力順位は1990年1位が2010年27位に下落。一人当たりGDPランキングは2000年3位が2008年23位に下落。そして、最近発表された国の借金は総額954兆円国民一人当たり750万円に増加。

何故こんなことになってしまったのか。経済政策としては、第一に、1990年代のバブルの後処理負担とグローバリゼーションへの対応不足。

第二に、2000年代の構造改革路線の頓挫とバラマキの継続。社会情勢としては、高齢化とコミュニティーの崩壊。

競争力を失って、巨額の累積債務に苦しむ衰退国家・日本。1980年代に栄華を極めた経済大国・日本は、バブル崩壊を契機に急速に壊れた。この事実は真摯に受け止めなければならない。その上で、「失われた20年」を反省し、もう一度「すごい国・日本」と言えるまで頑張ろう。

「手本がない領域」へ

では、これから日本は何を理想として邁進するのか。正直に言って、いま国民的コンセンサスがない。それに、戦前の「富国強兵」も戦後の「追い付け追い越せ」も、欧米先進諸国を目標

としたが、いまの日本に、もはや手本の国はない。過去の二度の成功体験と違って、今回は全く新しい国家モデルを打ち立てなければならない。

ただ、迫りくる大きな課題は見えている。第一の課題は、人口減少高齢化である。1900年5千万人、2000年1億3千万人、そして、2100年5千万人になる人口ジェットコースターをどうやって乗り切るかである。

私は、この問題は、地方格差、都市化、公害等とならんで、経済発展に伴う当然の帰結の一つであると考えている。発展とともに、寿命が延び、少子化が進み、高齢化によって社会保障負担が増えると同時に少子化により生産年齢人口が減少する現象である。

日本の場合は、経済発展と長寿化の進展が異常に早かったため、人口減少高齢化問題が世界の中でも最も顕著に表れた。日本は、地方格差の問題を地方財政制度によって、公害問題を技術開発等で解決した。人口減少高齢化を解決するには、制度改革のみならず、意識改革を通じて国民生活自体を変える必要がでてくると考えている。人類未体験ゾーンへの突入である。

第二の課題は、経済小国化である。2007年にゴールドマンサックス証券が発表した資料によると、2050年に日本は世界で8番目の経済規模まで転落する。代わりに登場するのが、中国に加え、インド、ブラジル、ロシア、メキシコ、インドネシア。

2008年1月に当時の経済財政担当大臣が国会で「もはや日本は経済一流ではなくなった」と語ったが、一流かどうかは別として、日本経済の相対的規模は確実に小さくなる。

21世紀は、新興諸国が勃興し、結果として先進諸国の地位が低下する。リーマン危機後にはG8に加えてG20が発足した。日本はもはや経済大国ではなくなる。もし一国の経済規模が人口規模で規定されると仮定すると、単純計算で2100年の日本のGDPシェアは1%以下まで低下する。

日本は、経済大国だからこそ成り立った国家モデルを見直さなければならない。お金で何でも買える時代は終わる。アジアで唯一の先進国である時代は終わる。食糧やエネルギーの自給体制の構築を推進すること、自主防衛を徹底すること、それに国際化を推進することなども必要になる。

最近、「課題解決先進国」という言葉が使われる。日本はさまざまな問題を解決してきた。これからまさに真価の発揮しどころである。

課題解決から未来のイメージを

ある戦略家が「第一に、最悪を避けよ、第二に、最善を齎せ」と教えた。いまの日本には、最悪の事態に至りかねないことが二つある。一つは財政危機であり、もう一つは近隣諸国との紛争である。

特に財政問題については、私は数年のうちに危機が訪れる可能性を感じている。また、財政危機は私たちの努力で解決可能な問題なので、まずこの喫緊の課題を解決すべきと考える。財政健全化は、未来への備えであり、次世代への責任でもある。

国家予算92兆円。うち、国債費22兆円、地方交付税等17兆円、社会保障関係費29兆円。これら3項目が73%をしめる。教育・科学技術、防衛・国際協力、公共事業など未来のための予算は全体の約4分の1に過ぎない。競争力を失い、累積債務が嵩む構造がここにある。聖域と言われる社会保障費、地方交付税交付金の制度改革を検討する時期にきた。

最近、「世代会計」や「世代間格差」といった言葉をよく耳にする。20代30代の若者も財政問題を自らのことと考え、発信を始めたのである。

未来に対して具体的イメージを持つことが重要である。未来に先回りして現在を見つめることでいまが変わる。

現実を素直に受け止め、それぞれの立場で課題に取り組む中から、未来のこの国のイメージが具体化されると考えている。一日も早く国民的コンセンサスを築いて、「理想実現型」の政治を実践したい。

(月刊誌「カレント」2010年9月号掲載文に加筆訂正)

越智 隆雄 TAKAO OCHI

1964年2月27日東京都世田谷区生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業、株式会社住友銀行勤務13年、国務大臣秘書官、衆議院議員などを経て、2010年より日本の未来研究所代表。この間、1991年フランス・ESSEC大学院大学修了(経営学)、2005年東京大学大学院修士課程修了(政治学)。現在同博士過程在学中。政官財学など多方面の経験を基に、21世紀の国家グランドデザインを描き実現すべく、勉強会や講演など幅広く活動している。現在、自由民主党東京都第六選挙区支部長・世田谷総支部長。

越智たかお政策研究会 in 世田谷

日本の未来を、役人や政治家に任せるのではなく、国民自らが考え、決め、実行に移していく。そんな世の中にしたいたいとの思いから、2005年4月に、「越智たかお政策研究会」を立ちあげました。

そして、2010年、4年間の議員経験を踏まえ、過去の延長線上に未来はない、理想の国づくりを実行しなければならないとの思いから、「日本の未来」勉強会をスタートしました。

- 第1回 2005年04月 講師：松谷明彦 大学教授
「人口減少社会の豊かな暮らし方」
- 第2回 2005年08月 講師：山本一太 参議院議員
「日本のアジア外交」
- 第3回 2005年11月 講師：大野元裕 中東調査会上席研究員
「イラク復興支援と日本外交」
- 第4回 2006年02月 講師：木原せいじ 衆議院議員
「財政改革と日本の未来」
- 第5回 2006年05月 講師：愛知和男 衆議院議員
「憲法改正と私たちの日本」
- 第6回 2006年09月 講師：篠原文也 政治解説者
「「ポスト小泉」に見る人間力」
- 第7回 2006年11月 講師：武見敬三 厚生労働副大臣
「社会保障制度のこれからと私たちの生活」
- 第8回 2007年02月 講師：ありむら治子 参議院議員
「教育改革の現状と展望－教育は国民性を創る礎－」
- 第9回 2007年05月 講師：津島雄二 党税制調査会長
「迫る税制改革と私たちの未来」
- 第10回 2007年09月 講師：蔦谷栄一 農林中金総研特別理事
「都市における農業と私たちの生活」
- 第11回 2007年11月 講師：谷垣禎一 党政務調査会長
「日本の未来、その展望と課題」
- 第12回 2008年02月 講師：坂東真理子 昭和女子大学学長
「女性の品格・親の品格」セミナー
- 第13回 2008年06月 講師：中山恭子 首相補佐官
「世界の中の日本 未来を見据えて」
- 第14回 2008年09月 講師：猪口邦子 元少子化担当大臣
「これからの少子化対策」
- 第15回 2008年11月 講師：田村耕太郎 参議院議員
「世界金融危機と日本経済の展望」
- 第16回 2009年03月 講師：河野太郎 衆議院議員
「国のムダ遣いをなくせ！」
- 第17回 2009年06月 講師：丸山和也 参議院議員
「裁判員制度のしくみと今後の課題」
- 第18回 2010年02月 【日本の未来勉強会】 講師：越智隆雄
「日本再生にいかに取り組むか」
- 第19回 2010年11月 【日本の未来勉強会】 講師：越智隆雄
「国家百年の計を語る会」
- 第20回 2011年03月 【日本の未来勉強会】 講師：越智隆雄
「これからの日本人の賢い暮らし方」
- 第21回 2011年07月 講師：下村博文 衆議院議員
「震災後の日本政治」
- 第22回 2011年09月 講師：平沢勝栄 衆議院議員
「日本の危機管理」
- 第23回 2011年11月 講師：竹中治堅 大学教授
「ねじれ国会における野党の責任」
- 第24回 2012年02月 講師：越智隆雄（開催予定）
「日本と世界の近未来像と進むべき道」

政策を



どなたでもご参加頂けます！

越智たかお政策研究会は、3か月に一度勉強会を開催いたします。2011年からは昼食会勉強会もスタートいたしました。会員以外の方もご参加頂けますので、ご興味がおありの方は、事務局までご連絡下さい。開催のご案内をお送りいたします。

【事務局】

TEL: 03-3413-4600

FAX: 03-3413-4601

E-mail: info@ochi-takao.jp

おちたかおフォーラム in 永田町

日本のよりよい未来の実現のために皆さまと共に知見を磨くことを目的に、2006年2月に「おちたかおフォーラム」をスタートしました。

その時々に関心の高いテーマについて、第一線で活躍している講師から、約1時間でコンパクトに要領よく全体像をお話いただく勉強会です。2011年夏からは「震災後の日本」シリーズを実施いたしました。

極める



日本の未来を一緒に考えましょう！

おちたかおフォーラムは、約2か月に一度勉強会を開催いたします。2011年からは会場を自民党本部からホテルニューオータニに変え、より多くの方にご参加いただけるようになりました。ご興味がおありの方は、事務局までご連絡下さい。開催のご案内をお送りいたします。

【事務局】

TEL: 03-3413-4600

FAX: 03-3413-4601

E-mail: forum@ochi-takao.jp

- 第1回 2006年02月 講師：越智隆雄
「新しい政治のあり方」
- 第2回 2006年05月 講師：後藤田正純 内閣府大臣政務官
「骨太の方針2006について」
- 第3回 2006年08月 講師：越智隆雄
「ポスト小泉の日本政治」
- 第4回 2006年11月 講師：林芳正 内閣府副大臣
「安倍内閣と日本政治」
- 第5回 2007年02月 講師：越智隆雄
「安倍内閣の目指す日本の姿」
- 第6回 2007年05月 講師：田村耕太郎 内閣府大臣政務官
「骨太の方針2007について」
- 第7回 2007年08月 講師：竹中治堅 政策研究大学院大学准教授
「参院選の分析と今後の政治情勢について」
- 第8回 2007年11月 講師：中川秀直 衆議員議員
「ねじれ国会への対処」
- 第9回 2008年02月 講師：越智隆雄
「消費税をあげるな！行財政改革の徹底と成長戦略の推進」
- 第10回 2008年05月 講師：西村康稔 衆議院議員
「日本のエネルギー戦略」
- 第11回 2008年08月 講師：越智隆雄
「平成改革の工程表」
- 第12回 2008年11月 講師：高橋進 日本総合研究所副理事長
「米国発の金融危機と今後の世界経済」
- 第13回 2009年02月 講師：越智隆雄
「2009年の政治～危機対応と選挙の年～」
- 第14回 2009年06月 講師：越智隆雄
「政権交代を越える新しい政治」
- 第15回 2009年11月 講師：越智隆雄
「総選挙2009と民主党政権の今後」
- 第16回 2010年02月 講師：河野太郎 衆議院議員
「日本の再生と経済成長戦略」
- 第17回 2010年04月 講師：越智隆雄
「縮小日本の国家経営と国民生活」
- 第18回 2010年05月 講師：松谷明彦 政策研究大学院大学教授
「人口減少と財政破綻」
- 第19回 2010年06月 講師：田谷禎三 元日銀政策委員会審議委員
「金融危機と財政危機」
- 第20回 2010年08月 講師：越智隆雄
「政権交代から一年 これまで何が起きたのか、これから何が起きるのか」
- 第21回 2010年11月 講師：石原伸晃 自民党幹事長
「自民党の司令塔が語るこれからの日本」
- 第22回 2011年03月 講師：平沢勝栄 自民党東京都連総務会長
「統一地方選と今後の政治情勢」
- 第23回 2011年07月 講師：石破茂 自民党政調会長
「震災後の日本のあり方」
- 第24回 2011年09月 講師：高橋進 日本総合研究所理事長
「震災後の日本経済」
- 第25回 2011年10月 講師：北岡伸一 東京大学教授
「震災後の日本外交」

次世代と対話する

日本の未来を担う若者にもっと自分の国を好きになってほしい。

だからこそ、今の日本の抱える問題をきちんと説明し、
どうすれば日本をよくできるのかを一緒に考えることが私の使命。—Takao Ochi

講演

早稲田大学で講義 「日本と世界の近未来像と進むべき道」

2011年11月2日、早稲田大学理工学部で特別招聘講師として授業を行った。学生130名、持ち時間1時間半。テーマは「日本と世界の近未来像と進むべき道」。難しい顔をして授業を受けていた彼らから届いたレポートには、それぞれの気づきが熱く書き綴られていた。こんなに真剣に未来の話聞いてくれたのか、私の方が感動してしまった。厳しい話ばかりしたのに、「これから社会にでていく自分たちこそ日本を支え、変えていくのだと思う」「将来に対するやる気がわいてきた」などの前向きな感想が多かった。頼もしいと思うと同時に、教育は重要だと改めて痛感した。



政治講座&国会見学

小学校で政治講座&国会見学



今年で5年目を迎えた世田谷区内小学校での授業&国会見学。目的は、政治をもっと身近に感じてもらうこと。授業ではスライドを多用して、政治の仕組みと政治家の仕事を分かり易く説明する。国会議事堂の中では、見て触って嗅いで、できるだけ五感をフル稼働して国会を感じてもらう。建物に興味がある子もいれば、歴史に関心がある子もいる。それぞれの関心を伸ばして欲しい。

それとは別に、「国会に行こう！」を年4回程度実施している。小中学生の政治講座&国会見学。親子、三世代で参加される方が多い。夏休みと春休みは特に盛況で、すでに1000人以上の方に参加いただいた。

勉強会

日本の未来を考える勉強会

20~30代の若者と日本の未来を考える機会を大切にしている。週末や平日夜を利用して、さまざまな勉強会に参加する若者が多いのに驚かされる。今年になっていくつかの勉強会を立ち上げた。みんな未来に一所懸命だ。



未来を構想する

人類史上初の急激な人口減少を迎える日本。
 これからの日本の未来を考えるシンクタンク
 「日本の未来研究所」を立ち上げました。—Takao Ochi

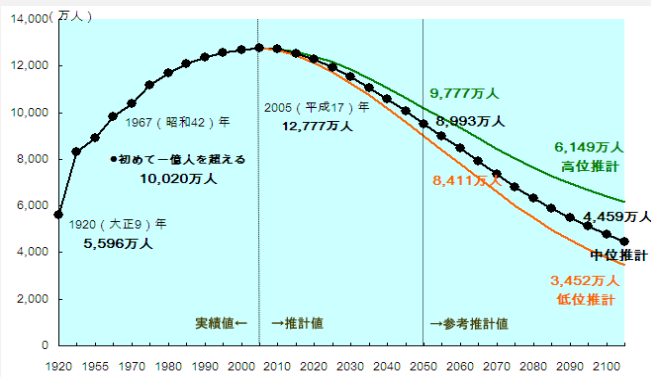
私の祖母が生まれた1912年。日本の人口は初めて5千万人を超えました。3歳の娘が80歳過ぎまで生きると今度は5千万人を割り込みます。5千万人から1億3千万人へ、そして、5千万人へ。私たちはいま、人口ジェットコースターの天辺にいます。

私の目の前にいる祖母と娘。四つの目玉は合わせて200年ほど日本の姿を見続けることとなります。ただ、祖母の見る日本と娘の見る日本は相当異なるものになるでしょう。拡大期の20世紀と縮小期の21世紀。

来るべき未来は人類未経験の領域です。だからこそ、未来をできるかぎり具体的に想定し、実現可能で最も意欲的な国家ビジョンを描き実現し、次世代に確かな未来を引き継いでいきたいと考えています。

2010年3月、任意団体として日本の未来研究所をスタート。2011年12月、一般社団法人として日本の未来研究所を設立しました。

【我が国の総人口の見通し】



出典：国立社会保障・人口問題研究所



2100年の日本人にどんな日本をつなげるか。それを考えて私は毎日活動しています。

越智隆雄

一般社団法人 日本の未来研究所 理事長

主な講演実績

2010年春に「日本の未来」講演活動を始めました。

- 2010年03月 「国家経営のすすめ」
- 2010年04月 「縮小日本の国家経営と国民生活」
- 2010年06月 「極大値後の国家百年の計」
- 2010年10月 「転換期の日本政治」
- 2011年02月 「30年後の日本」
- 2011年02月 「これからの日本人の賢い暮らし方」
- 2011年08月 「人口減少時代の国家グランドデザイン」
- 2011年11月 「日本と世界の近未来像と進むべき道」

- at ロータリークラブ
- at おちたかおフォーラム
- at メリルリンチ証券
- at ロータリークラブ
- at 自動車関係団体
- at 越智たかお政策研究会
- at 政策マーケティング研究会
- at 早稲田大学理工学部

地域を愛する

今年も多くの方々を支えられながら、地域の皆さまの活動に参加させて頂きました。これからますます**地域の絆**が大切な時代になります。私も世田谷生まれ、世田谷育ちとして、世田谷を愛していきたいと思います。 —Takao Ochi



2012年! おちたかお全開!!

住友銀行を辞し12年、政治への揺るぎない志を固めて10年が経ちました。いま必要なことは、政治闘争ではなく、多くの人々が賛同できる**国家ビジョンを創る**ことです。この国の再生に残された時間は限られています。次の総選挙は、この国の命運を決める重大な岐路となります。私は、その時までには新たな国家ビジョンを打ち立て、国民にしっかりと情報発信し、一緒に日本の未来を真剣に考え、創り上げていくことが、いまを生きる政治家の責務だと考えています。Facebookと連動させた新しいホームページも完成しました。是非ご覧ください。2012年は、おちたかおパワー全開で突き進みます！ —Takao Ochi

【ホームページ】

<http://www.ochi-takao.jp>



【Facebookページ】

おちたかおChange Our Future



ご登録は
こちらから



衆議院東京6区 「世田谷区の2/3(北西部)」

東京都第6選挙区町名一覧

ア行	赤堤、池尻、宇奈根、梅丘、大蔵、大原、岡本
カ行	粕谷、鎌田、上北沢、上祖師谷、北烏山、北沢、喜多見、砧、給田、経堂、豪徳寺
サ行	桜、桜丘、桜上水、三軒茶屋、成城、世田谷、祖師谷
タ行	太子堂、代沢、代田、千歳台、弦巻
ハ行	八幡山、羽根木、船橋
マ行	松原、三宿、南烏山、宮坂
ワ行	若林



おち たかお 世田谷事務所

〒154-0024

東京都世田谷区三軒茶屋2-17-10-202

Tel: 03-3413-4600 Fax:03-3413-4601

E-mail:info@ochi-takao.jp

<http://www.ochi-takao.jp>

■東急世田谷線「三軒茶屋」駅より徒歩2分

■東急田園都市線「三軒茶屋」駅

世田谷通り・三茶パティオ口より徒歩2分

THE TAKAO MAGAZINE SPECIAL EDITION

DEC. 14, 2011

発行元:越智たかお政策研究会

世田谷区三軒茶屋2-17-10-202